

～ 歯周病関連菌検査を始めました～

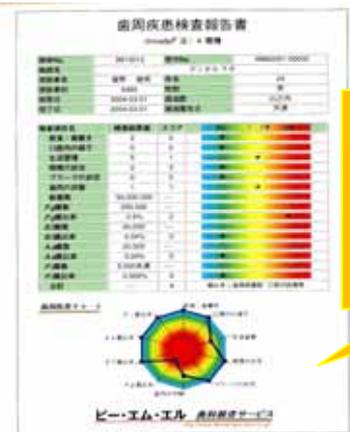
【はじめに】

歯周病とは歯肉や歯槽骨(歯を支えている骨)など、歯の周りの組織が破壊されてしまう病気です。痛みを伴わずにじわじわ進行するため、気付かないうちに重症になっていることもあります。特に違和感をうまく伝えられない障害のある方たちにとっては厄介な病気です。そのため、早期発見・治療が重要となります。そこで、当センターでは昨年より積極的に歯周病の治療・予防を行うため、歯周病関連菌検査を始めました。

【歯周病関連菌検査とは】

歯周病の多くは歯垢(プラーク)中の細菌が原因となって生じます。お口の中には約 400 種類の細菌があります。その中で特に歯周病に強く関与している細菌を歯周病関連菌といい、以下のような 5 種類があります。

- Porphyromonas gingivalis*(P.g.菌)
- Tannerella forsythensis*(T.f.菌)
- Treponema denticola*(T.d.菌)
- Prevotella intermedia*(P.i.菌)
- Aggregatibacter actinomycetemcomitans*(A.a.菌)



検査の結果は、この報告書に記録されます。菌の種類・量などがわかるようになっています。

歯周病関連菌検査では、歯周ポケット内のこれらの菌の種類や量、割合を測定することで、歯周病のかかりやすさや歯周病のタイプがわかります。また、これらの情報をもとに治療方針の決定、治療後の評価を行うことができます。具体的には、当センターでは重度の歯周病に対して、細菌を一掃するために、お口の中全体をいっぺんにお掃除をしたり、抗生剤の服用を勧めたりするなど、積極的に歯周病治療に取り組んでいます。



実際の検査方法

歯周ポケット内に紙の細い棒を挿入し、菌を採取します。

【おわりに】

歯周病の原因をより科学的に診断するため、このような検査も有効な手段の一つといえます。料金は、保険の対象ではないため自費診療となります。もし御希望がございましたらお気軽に担当歯科医師・歯科衛生士に御相談ください。